

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2017 助成の概要と推薦理由

助成番号 17-2-5

プロジェクト名 医療的ケアの必要な子どもとその家族の疲弊防止
プロジェクト(2)
団体名 特定非営利活動法人親子はねやすめ
代表者名 宮地 浩太
所在地 東京都
助成額 150万円
助成期間 2018年9月1日～2019年8月31日
設立年 2014年
URL <http://www.haneyasume.org/respitecare.html>



医療的ケアの必要な子どもが退院した後は、親は常に子どもの体調に目を配り、医療機器の対応で息抜きする時間もなく、日々ストレスを抱えながら24時間365日ケアを行っている。その状況にも関わらず、地域には子どもを安心して預けることのできる施設は少なく、支援体制は整っているとは言い難い。またその親の姿を見ているきょうだい児も親に甘えたい気持ちを出すことを遠慮し、日々我慢を強いられている。

この団体は、重い病気や障がいを持つ子どもとその家族に対して、長野県筑北村を中心にレスパイト旅行やきょうだい児キャンプを提供し、心からくつろげる時間と機会を提供することに取り組んでいる。

前回の助成では、これまで長野県で実施してきたノウハウを活かし、新たに宮城県仙台市において、レスパイト旅行を1泊2日で企画し、親やきょうだい児が当事者である子どもと束の間離れ、リラックスできる機会を提供した。医療ボランティアが当事者の子どもをケアしている間に親は自分の時間をゆっくりと過ごし、またきょうだい児は親に甘えたり、一般ボランティアと身体を思いきり動かす遊びをする等、楽しい時間を生み出すことが出来た。さらに、“せんだいタウン情報 machico”を通じて読者アンケートを行い、医療的ケアが必要な子どもとその家族の現状を知ってもらうとともに、ボランティア参加の関心を高めるきっかけをつくった。

今回の継続助成では、前回の活動を通して育んだ地域とのつながりを活かし、仙台在住の当事者親子を主な対象としたレスパイトイベントを企画し、現地ボランティアを中心とした体制づくりを進める。当事者親子とボランティアの双方が参加しやすいよう、日帰りのBBQや芋煮会を開催し、交流をしながらお互いの理解を深めていく。また現地のコーディネーターを担う団体を見つけ出し、地域に根付いた活動を展開していく。

本助成を通じて、医療的ケアが必要な子どもとその家族の理解促進へとつながり、地域の支援者や理解者を巻き込むきっかけとなるよう、取り組んで欲しい。またゆくゆくは地域を中心としたレスパイト旅行が実現できるよう、期待して助成する。